

# 修士論文体裁についての規定

2017年7月26日 専攻教育会議承認

## 1. 表紙および中表紙:

表紙および中表紙は、別紙の書式にしたがう（書式1）。

## 2. 用紙

A4横書き、片面印刷。

## 3. フォントと行間

本文は、明朝体で11ポイント、1頁あたり40字×35行を基本とする。余白は、上と下は25mm、左は30mm、右は25mm空ける。図表、注釈、巻末資料、および参考文献のフォントは、10ポイントか、10.5ポイントとする。フォントとフォントのサイズは、本文全体を通して一貫性を持つようにする。本文の行間は、1行を基本とする。注釈の行間は、それよりも狭めること。体裁を整える観点から、図表の行間は1行とし、範囲は1頁を超えないことを基本とする。

## 4. ページ番号

目次等にはローマ数字 (i, ii, iii, iv...) を、本文にはアラビア数字 (1, 2, 3 .....) を付すこと。ページ番号は、下部から8~10mmの位置にすること。

## 5. 図表

図表番号は、章ごとに連続した番号を付けること。例えば第二章なら、図2-1、図2-2等。第三章なら、図3-1、図3-2等。表番号もこれに従うこと。図表番号とタイトルは図表の上に、出典は下に記すこと。

## 6. 段落

本文は、段落によって構成される。1段落は複数の文から構成されるのであり、1文だけでは段落を構成したことになる（1文ごとに改行してはならない）。各段落の最初の一行目は、1文字下げて書き始める。段落と段落の間に、空白の1行を加えないこと。

## 7. 目次

目次は、別紙の書式に従う（書式2）。

## 8. 参考文献

註の付け方や参考文献の作成の仕方には、各学問分野・領域によって、それぞれの標準的な方式があるので、指導教官の指示に従うこと。オンライン文献を引用する場合には、URLとアクセスした日を必ず付すこと。

## 9. 著作権法と盗用に対する重大な罰則について

研究で取得したデータや資料等を改ざん、または捏造してはならない。他者の論文や本のオリジナリティーを損なうような行為は厳につつしむこと。すべての引用箇所には、逐一引用元となったデータや参考文献を明確に示すこと。もし、これらのことが守れていない場合は、他の研究からの剽窃・盗用とみなされることがある。そうした剽窃、盗用、その他の研究倫理に反した行為を行ったと判断された場合には、たとえ大学院修了から何年経っていたとしても、あなたの学位は取り消されることがある。

筑波大学大学院修士課程  
人文社会科学研究科修士論文

論 文 題 目  
— 副 題 —

姓 名  
(国際地域研究専攻)

201△年△月

(書式2) 参考例1

## 目次

要旨	.....i
謝辞 (任意)	.....ii
目次	.....iii
図一覧	.....iv
表一覧	.....v
略語表 (必要な場合)	.....vi
序章	.....1
第1章 章題	.....10
第1節 節題	.....10
第1項 ○○	.....10
⋮	
第2章 章題	.....30
第1節 節題	.....30
第1項 ○○	.....30
⋮	
第3章 章題	.....60
第1節 節題	.....60
第1項 ○○	.....60
⋮	
終章	.....90
付録1 付録タイトル(必要な場合)	.....101
付録2 付録タイトル(必要な場合)	.....109
参考文献	.....124

## 目次

要旨	.....i
謝辞（任意）	.....ii
目次	.....iii
図一覧	.....iv
表一覧	.....v
略語表（必要な場合）	.....vi
第1章 序論	.....1
第1節 節タイトル	.....1
第1項 ○○	.....1
⋮	
第2章 章タイトル	.....30
第1節 節タイトル	.....30
第1項 ○○	.....30
⋮	
第3章 章タイトル	.....60
第1節 節タイトル	.....60
第1項 ○○	.....60
⋮	
第4章 結論	.....90
付録2 付録タイトル（必要な場合）	.....101
付録1 付録タイトル（必要な場合）	.....109
参考文献	.....124